

1 活動の概要

木材・浮き・ロープを組み合わせていかだを作る。
自分達で組み立てたいかだに乗って、海に漕ぎ出す。

2 ねらい

- (1) 仲間と協力することや安全管理について学ぶとともに、自然愛護の心を養う。
(2) 海の楽しさを知り、自然に親しむ態度や心を育む。

3 活動場所

【山田町】浦の浜海水浴場（車で約15分）
※海開きの期間等、詳細については各団体で町役場へお問い合わせください。

4 活動期間

6月下旬～9月上旬

5 所要時間

いかだ作り1時間、いかだ遊び1～2時間

6 準備・服装

個人	かかとつきサンダルまたはズック、軍手、バスタオル、水着、帽子
団体	救急用具、笛、拡声器、パラソルやテント等（日よけ用） その他必要なもの
貸出できる物	ライフジャケット、ブイロープ（救命浮き輪）
青少年の家	一艇…木材（棒2本、穴2つの板3枚、座席用板2枚） 浮き4つ、ロープ（長め2本、短め6本）、オール4～6本 トイレ等掃除用具（ホース、ブラシ、水切りワイパー）、AED

7 活動の流れ

(1) いかだ作り

- ・広く平らなスペースを確保し、完成図を想像して材料を配置する。
- ・材料をロープで固定する。緩まないように固く結ぶ。
(座席部分は結び目が下になるようにする。)



(2) いかだ遊び

- ・濡れても良い格好になり、ライフジャケットを必ず着用する。
- ・オールを持って、いかだに乗る。(1艇6名まで)



(3) 片付け

- ・いかだを解体する。
- ・ライフジャケットを水で洗う。
- ・管理棟のトイレ・シャワーを清掃する。



8 留意事項

(1) 活動前

- ・実施日およびその前後の活動は、ゆとりのあるプログラムを計画する。
- ・体調の悪い人や持病を持っている人には、無理をさせない。(健康観察をしっかりと)
- ・十分な人数の引率者を配置し、支援体制を組む。
- ・最終的な実施の判断は青少年の家が行う。

(2) 活動中

- ・転覆時に備え、必ずライフジャケットを着用する。また、水着も着用する。
- ・海水浴場のルールを守り、監視員の指示に従う。
- ・遊泳区域を厳守する。(沖に向かって流れる離岸流に注意)
- ・雷注意報等、活動に関わる注意報や警報が発令された場合は、直ちに活動を中止し、避難する。
- ・活動中は適度に休憩をとり水分補給を行う。また、過度の日焼けで皮膚を傷めないよう、日焼け止めクリーム等をぬり予防に努める。

(3) 活動後

- ・借用した用具を確実に返却する。
- ・靴に付いた砂をしっかりと落としてから、バスに乗る。青少年の家に入る。

(4) 青少年の家の安全対策

- ・事前に実地踏査を行い、浦の浜海水浴場の様子を団体へ伝える。
- ・代表者に危険個所や避難経路等を伝える。
- ・救助艇を用意して万が一に備える。
- ・山田町水産商工課に連絡し、管理棟開錠を申請する。